

# 地域振興県土警察常任委員会資料

(平成30年4月20日)

- 1 平成30年度国土交通省関係予算の配分について 【県土総務課】……1ページ
- 2 鳥取県中部地震に係る公共土木施設災害復旧工事の完成について 【技術企画課】……4ページ
- 3 島根県西部を震源とする地震に対する鳥取県の支援状況について 【技術企画課】……5ページ
- 4 道の駅「気高(仮称)」の名称募集について 【道路企画課】……9ページ
- 5 県管理河川の減災対策協議会の開催について 【河川課】……10ページ
- 6 平成29年度第2回湖山池会議の開催概要について 【河川課】……12ページ
- 7 平成30年度鳥取県水防訓練の実施について 【河川課】……13ページ
- 8 大分県中津市における土砂災害を受けての土砂災害警戒区域の緊急点検について 【治山砂防課】……14ページ
- 9 ユネスコ世界ジオパーク鳥取隠岐間超高速船チャーター運航結果について 【空港港湾課】……15ページ
- 10 クルーズ客船「ばしふいっく びいなす」の鳥取港寄港について 【空港港湾課】……16ページ
- 11 鳥取砂丘コナン空港 コンセッション実施契約に係る契約締結式の開催について 【空港港湾課】……17ページ
- 12 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 【道路企画課・道路建設課・河川課・治山砂防課・空港港湾課】……18ページ

県 土 整 備 部

# 平成 30 年度国土交通省関係予算の配分について

平成 30 年 4 月 20 日

県 土 総 務 課

国の平成 30 年度予算が 3 月 28 日に成立し、3 月 30 日に予算の配分が発表されました。

国土交通省では、激甚化・頻発化する水害・土砂災害や巨大地震等に備えるための防災・減災対策、老朽化対策、生産性向上による持続的な経済成長や地方創生の実現など我が国が直面する課題に取り組むため、「国民の安全・安心の確保」、「生産性の向上と新需要の創出による成長力の強化」及び「豊かで活力のある地域づくり」等に重点的に配分されています。

県土整備部関係の概要は次のとおりです。

## 1 直轄事業（県土整備部所管分、事業費ベース）

○直轄事業の配分額は、山陰道（鳥取西道路）の大規模構造物等の工事完了に伴い、総額としては約 103 億円減となる 190 億円の配分（対前年度伸率 0.65）であり、国予算の対前年度伸率 1.01 を大幅に下回る配分であったが、各事業とも必要額は確保されている。

### 直轄事業の前年度比較（事業費ベース）

	本県の状況						国予算の 対前年度伸 率
	H30年度 当初配分額 ①	H29年度 補正配分額 ②	H30当初十 H29補正③ (①+②)	H29年度 当初配分額 ④	(H30)対前 年度伸率 ①/④	(H30+H29 補正)対前 年度伸率 ③/④	
道路事業	14,496	723	15,219	25,085	0.58	0.61	1.00
河川・海岸事業	1,632	310	1,942	1,960	0.83	0.99	0.99
河川	1,146	160	1,306	1,421	0.81	0.92	0.99
海岸	486	150	636	539	0.90	1.18	1.00
砂防事業	1,122	330	1,452	1,189	0.94	1.22	0.99
港湾事業	1,750	100	1,850	1,100	1.59	1.68	1.00
計	19,000	1,463	20,463	29,334	0.65	0.70	1.01

(注) 1 港湾事業には境港管理組合分を含む。

2 河川事業、砂防事業の国予算の伸率は治水事業を記載。

### (1) 道路事業

○「全国ミッシングリンク」に相当する「山陰道」などをはじめとする改築事業については、約 145 億円の配分であり対前年度伸率は 0.58 であるが、平成 30 年 2 月 22 日に示された「平成 30 年度直轄事業の事業計画」の上限値（約 151 億円）のほぼ同額が配分されており、必要額は確保されている。

○「鳥取西道路」については、鳥取西 IC～浜村鹿野温泉 IC 間の平成 30 年供用に必要な予算が確保された。また、昨年 12 月に重山地区で発生した法面変状対策として実施されるトンネルについても既に着手がなされるなど、浜村鹿野温泉 IC～青谷 IC 間についても平成 31 年夏迄の供用に向け整備が進められている。引続き早期の全線供用について国に働きかけていく。

○昨年度新規に事業化された「北条道路」については約 17 億円が配分され、今年度から用地買収、改良工事及び橋梁工事に着手される予定であり、本格的に事業が展開されることとなった。

このほか、交通安全 I 種事業として湯梨浜地区・北栄地区で進められている事故対策事業（交差点立体化）にも約 7 億円が配分されており、改良工事、橋梁工事、舗装工事等が進められる。

- 「鳥取自動車道」及び「山陰道（米子道路）」において進められている付加車線の設置については、「平成30年度直轄事業の事業計画」で示された上限値の約22億円が配分されており、整備が促進される。鳥取自動車道（智頭IC付近）のトンネル工事のほか、鳥取自動車道（鳥取IC付近）及び山陰道（米子道路）において橋梁工事や改良工事が進められる。

箇所名	今回配分額		備考
鳥取西道路	約30.8億円	約86.1億円 (約210.4億円)	改良工事、橋梁工事、トンネル工事、舗装工事等
鳥取西道路(Ⅱ期)	約30.7億円		
鳥取西道路(Ⅲ期)	約24.6億円		
北条道路	約17.5億円	(約1.0億円)	道路設計、用地買収、改良工事、橋梁工事等
鳥取自動車道(付加車線)	約18.2億円	約21.5億円 (約22.4億円)	改良工事、橋梁工事、トンネル工事
米子道路(付加車線)	約3.3億円		
鍵掛峠道路	約5.8億円	(約5.8億円)	改良工事等
交通安全	約10.4億円	(約10.4億円)	
電線共同溝	約3.8億円	(約1.0億円)	
計	約145.0億円	(約250.9億円)	

※( )は前年度配分額

※四捨五入の関係で、箇所別金額と合計金額は一致していない。

## (2) 河川事業、海岸事業

- 直轄河川・海岸事業は、総額約16億円(対前年度伸率0.83)が配分となった。(H29補正を加えると総額約19億円(対前年度伸率0.99))これにより、斐伊川(中海湖岸堤)における短中期箇所である貯木場北地区、貯木場南地区及び米子港地区の推進、日野川(法勝寺川青木地区)の完成などが図られる。

箇所名	今回配分額		備考
斐伊川	約3.4億円	(約5.3億円)	中海湖岸堤：(貯木場北地区、貯木場南地区、米子港地区ほか)約1.9億円(約2.4億円) 環境整備：(米子湾地区)約1.5億円(約2.9億円)
千代川	約2.2億円	(約2.5億円)	河道掘削ほか：徳吉地区
天神川	約3.2億円	(約3.5億円)	河道掘削ほか：米積地区ほか
日野川	約2.7億円	(約2.9億円)	築堤・護岸ほか：青木地区
皆生海岸	約4.9億円	(約5.4億円)	人工リーフ サンドリサイクル：富益工区
計	約16.3億円	(約19.6億円)	

※( )は前年度配分額

※四捨五入の関係で、箇所別金額と合計金額は一致していない。

## (3) 砂防事業

- 直轄砂防事業は、約11億円(対前年度伸率0.94)が配分となった。(H29補正を加えると総額約14.5億円(対前年度伸率1.22))これにより、大山山系直轄砂防事業(天神川(野添5号砂防堰堤や吉田砂防堰堤))など昨年度の中小河川緊急点検結果に基づく土砂・流木対策が重点的に実施される。

## (4) 港湾事業

- 境港竹内南地区貨客船ターミナル整備事業に16.5億円(対前年度伸率1.65)が配分となった。(H29年度補正を加えると総額約17.5億(対前年度伸率1.75))これにより、平成32年春供用開始に向けて着実に前進した。
- 鳥取港では、千代地区防波堤整備事業に1億円(対前年度伸率1.00)が配分され、静穏度の向上に向けた取組が行われる。

## 2 補助事業（県土整備部所管分、事業費ベース）

○補助事業は、岩美道路ほか4箇所にも事業費ベースで37億円（対前年度伸率1.33）が配分され、必要額が確保された。補助事業のうち地域高規格道路における前年比の全国平均は1.03であり、これを大きく上回っている。

補助事業の前年比較（事業費ベース）

	箇所	本県の状況					国予算の対前年度伸率	備考
		H30年度配分類①	H29年度補正配分類②	H30年度+H29補正配分類③(①+②)	H29年度配分類④	(H30)対前年度伸率①/④		
道路事業	岩美道路	2,009	500	2,509	1,475	1.36	1.70	-
	北条倉吉道路(延伸)	200	-	200	40	5.00	5.00	-
	倉吉道路	112	100	212	100	1.12	2.12	-
	倉吉関金道路	702	100	802	702	1.00	1.14	-
	江府道路	677	80	757	465	1.46	1.63	-
	計	3,700	780	4,480	2,782	1.33	1.61	地高のみ 1.03

- 岩美道路 …… 浦富IC～東浜IC間の平成30年代前半の供用に向けて、トンネル工事や橋梁工事など整備推進を図る。
- 北条倉吉道路(延伸) …… 北条道路整備に合わせた北条JCTの整備に向け、引き続き測量及び設計を推進する。
- 倉吉道路・倉吉関金道路 …… 倉吉西IC～福山IC(仮)間の改良工事、橋梁工事、埋蔵文化財調査などを推進する。
- 江府道路 …… 引き続きトンネル工事の整備を推進する。

## 3 交付金（当初予算の国費ベース。市町村分・他部局分含む）

- 交付金の合計では、前年度伸率0.97で全国配分総額の伸率1.01を下回る配分となった。
- このうち社会資本整備交付金は対前年度伸率0.75であったものの、防災・安全交付金については対前年度伸率1.07の予算が配分された。
- 国のH29補正において、防災・安全交付金に約37億円が配分されており、これを合わせると対前年度伸率は1.16となる。

交付金事業の前年度比較（国費ベース）

交付金名	本県の状況					国予算の対前年度伸率
	H30年度配分類①	H29年度補正配分類②	H30年度+H29補正配分類③=①+②	H29年度配分類④	(H30)対前年度伸率①/④	
社会資本整備総合交付金	3,988	0	3,988	5,300	0.75	0.75
うち道路関係	1,696	0	1,696	1,882	0.90	0.90
防災・安全交付金	14,046	3,656	17,702	13,159	1.07	1.35
農山漁村整備総合交付金	689	0	689	763	0.90	0.90
計	18,723	3,656	22,379	19,222	0.97	1.16

## 鳥取県中部地震に係る公共土木施設災害復旧工事の完成について

平成30年4月20日  
技術企画課

平成28年10月21日（金）午後2時7分に発生した鳥取県中部を震源とする地震に係る公共土木施設災害復旧工事について、状況を報告します。

＜ 目 標 ＞	＜ 進捗状況 ＞
【県工事】：60箇所 3月末完了を目指す（H29年度内）	⇒ <u>60箇所 すべて年度内に完成</u>
【市町工事】：72箇所 3月末完了を目指す（H29年度内）	⇒ <u>72箇所 H30.5月末までに</u> <u>すべて完成する見込み</u>
※3月末時点で、2箇所工事中（北栄町：下水工事） <生活環境部 所管>	

### ＜ 上記2工事の完成がH30.4・5月末にずれ込む理由 ＞

- ・米里地区：隣接民家に対する掘削工事配慮に伴う工期延長（工期：H29.3.31～H30.4.30）  
⇒ 4月末には完成する見込み
- ・西園地区：地盤強固に伴う工法変更による工期延長（工期：H29.5.19～H30.5.31）  
⇒ 5月末には完成する見込み

### ＜H30.3月末見込み＞

	県工事		市町工事		計	
	箇所数	うち完成	箇所数	うち完成	箇所数	うち完成
河川	5	5	2	2	7	7
海岸	1	1	—	—	1	1
砂防	1	1	—	—	1	1
道路	49	49	44	44	93	93
橋梁	—	—	3	3	3	3
港湾	2	2	—	—	2	2
下水道	1	1	22	20	23	21
公園	—	—	1	1	1	1
治山	1	1	—	—	1	1
計	60	60	72	70	132	130

島根県西部を震源とする地震に対する鳥取県の支援状況について

平成30年4月20日  
危機対策・情報課  
住まいまちづくり課  
技術企画課

平成30年4月9日午前1時32分、島根県西部を震源とするマグニチュード6.1（暫定値）の地震により島根県大田市を中心に人的被害や建物被害等が発生したことから、被災地の早期復興を支援するため、鳥取県は次のとおり支援活動を行いました。

1 鳥取県職員等の派遣概要

支援概要		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
自主派遣	被災建築物 応急危険度 判定士	情報収集班(2名)	○	○										
		第1陣(4名)			○	○	○							
		第2陣(4名)						○	○	○				
	被災宅地 危険度 判定士	情報収集班(2名)	○	○										
		第1陣(4名)			○	○	○							
	職員災害 応援隊	第1陣(7名)				○	○							
		第2陣(7名)								○	○	○		
		第3陣(7名)											○	○
	情報連絡員 (リエゾン)	第1陣(2名)	○	○										
		第2陣(2名)		○	○									
要請派遣	被害認定等業務のマネジメント 支援(倉吉市職員派遣)						○	○				○	○	○

□ : 派遣期間      ○ : 活動日

※被害認定・罹災証明発行業務支援職員の派遣について調整中。

2 被災建築物応急危険度判定士の派遣

(1) 被災建築物応急危険度判定士の活動概要

被災した建築物の余震などによる倒壊、または、外壁及び窓ガラスの落下などにより生じる二次災害を未然に防止し、建築物を利用する居住者などの安全を確保することを目的に、必要な知識及び経験を有する者として知事が認定し、登録した判定士が実施するもの。

(2) 派遣先 島根県大田市内

(3) 派遣期間〔活動期間〕・人数

【情報収集班】4月9日(月)～10日(火)〔9日(月)～10日(火)〕・2名

【第1陣】4月10日(火)～14日(土)〔11日(水)～13日(金)〕・4名

【第2陣】4月13日(金)～17日(火)〔14日(土)～16日(月)〕・4名

(4) 活動実績

判定件数

平成30年4月16日現在

建築物	計	赤 (危険)	黄 (要注意)	緑 (調査済)	備考
島根県全体	2,812	93	297	2,422	4/18まで継続
うち鳥取県班	850	15	50	785	

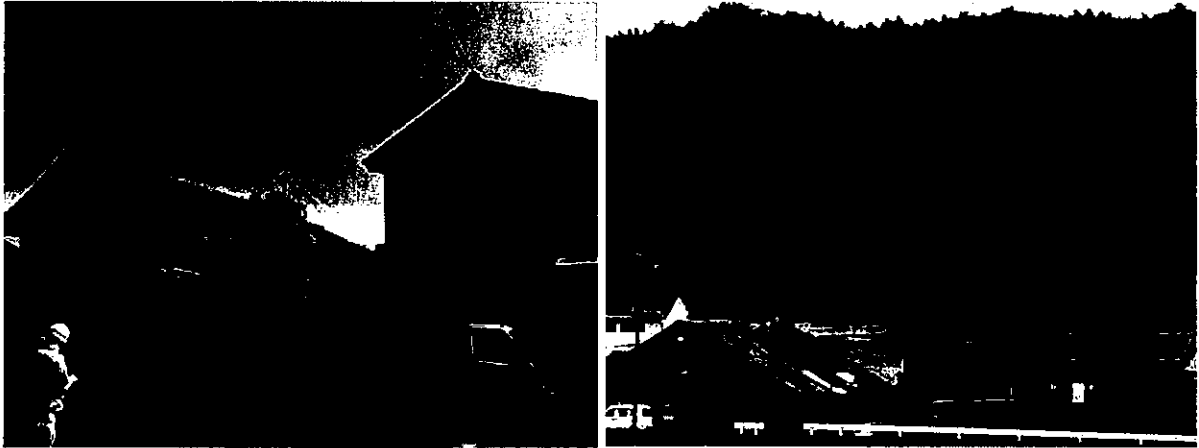
被災の特徴

黄色(要注意) : 屋根瓦のズレ(特に棟部分)

外壁のクラック、浮き(塗壁等の湿式工法)

赤色(危険) : 地割れによる建物基礎の割れ(無筋コンクリート)

建物の傾き(古い納屋等)



被災建築物の状況等

### 3 被災宅地危険度判定士の派遣

#### (1) 被災宅地危険度判定士の活動概要

被災した宅地の余震などによる崩壊、または、擁壁の損壊などにより生じる二次災害を未然に防止し、土地所有者などの安全を確保することを目的に、必要な知識及び経験を有する者として知事が認定し、登録した判定士が実施するもの。

#### (2) 派遣先 島根県大田市内

#### (3) 派遣期間〔活動期間〕・人数

【情報収集班】4月9日(月)～10日(火)〔9日(月)～10日(火)〕・2名

【第1陣】4月10日(火)～13日(金)〔11日(水)～13日(金)〕・4名

#### (4) 活動実績

判定件数

平成30年4月16日現在

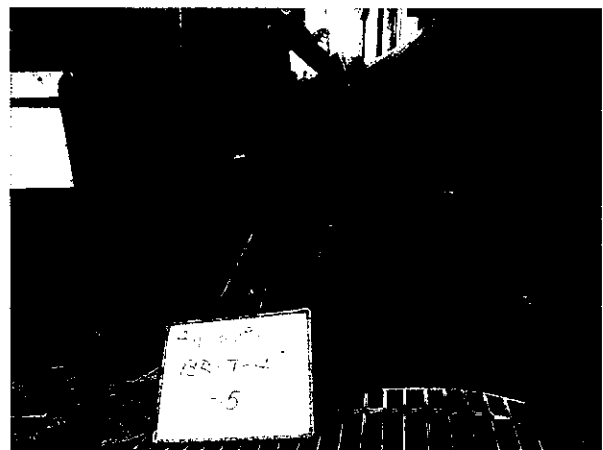
宅地	計	赤 (危険)	黄 (要注意)	青 (調査済)	青※ (踏査青)	備考
島根県全体	154	33	45	39	37	
うち鳥取県班	44	8	22	14	0	

※踏査青とは、目視確認により変状が認められない宅地。青判定ステッカーは貼付けず、住宅地図に位置を記録し、後日の住民からの照会に備える。

#### 被災の特徴

黄色(要注意)：擁壁の一部損壊・クラック

赤色(危険)：擁壁の傾斜や倒壊・崩壊、地盤沈下



被災宅地危険度判定士の活動状況

### 4 鳥取県職員災害応援隊の派遣

#### (1) 鳥取県職員災害応援隊の活動概要

島根県大田市ボランティアセンターを受入窓口として、大田市内の一般家屋の清掃・片付け等の復旧活動の支援を行う。

- (2) 派遣先 島根県大田市内  
 (3) 派遣期間〔活動期間〕・人数  
 【第1陣】4月11日(水)～13日(金)〔12日(木)～13日(金)〕・7名  
 【第2陣】4月16日(月)～18日(水)〔16日(月)～18日(水)〕・7名  
 【第3陣】4月18日(水)～20日(金)〔19日(木)～20日(金)〕・7名  
 (4) 活動実績  
 土のう作り、一般家屋の清掃・片付け、がれき撤去等を実施した。



職員災害応援隊の活動状況

## 5 情報連絡員(リエゾン)の派遣

- (1) 情報連絡員(リエゾン)の活動概要  
 地震・水害・土砂災害等の大規模災害の発生時に、被災自治体の災害対策本部等に職員を派遣し、被害状況や支援ニーズ等の把握、被災自治体との支援調整等を行う。  
 (2) 派遣先 島根県災害対策本部  
 (3) 派遣期間〔活動期間〕・人数  
 【第1陣】4月9日(月)～10日(火)〔9日(月)～10日(火)〕・2名  
 【第2陣】4月10日(火)～11日(水)〔10日(火)～11日(水)〕・2名



島根県災害対策本部の状況

## 6 被害認定等業務のマネジメント支援

- (1) 支援の概要  
 「中国5県災害等発生時の広域支援に関する協定」に基づき、島根県から本県に次のとおり支援要請があり、倉吉市職員の派遣を実施した。  
 1) 要請日時 4月13日午後5時35分(島根県災害対策本部より)  
 4月17日午後2時 ( " " )  
 2) 要請内容 中部地震被災市町の職員で被害認定・罹災証明業務のマネジメント(実施体制



- の整備、実施計画の策定等)の支援ができる者(被害調査の実務支援ではない)の派遣
- (2) 派遣期間〔活動期間〕・派遣者
- 4月14日(土)～15日(日)〔14日(土)～15日(日)〕  
 倉吉市職員 3名  
 (内訳) 総務部防災安全課 係長 :り災証明、災害対応全般  
 総務部税務課 係長 :被害認定調査(1次調査)  
 建設部建築住宅課 主任技師:被害認定調査(2次調査)
- 4月19日(木)～21日(土)〔19日(木)～21日(土)〕  
 倉吉市職員 2名  
 (内訳) 建設部建築住宅課 主任技師  
 建設部管理計画課 主事
- (3) その他  
 大田市からは「罹災証明発行手続などについて具体的に説明してもらいありがたかった」との声あり。

## <参 考>

### 1 地震の状況

- (1) 発生時刻 4月9日(月)01時32分  
 (2) 地震規模 マグニチュード6.1(暫定値。速報値5.8から更新)  
 (3) 発生場所 島根県西部、深さ12km(暫定値。速報値10kmから更新)  
 (4) 震 度  
 [震度5強] 島根県大田市  
 [震度5弱] 島根県出雲市、雲南市、川本町、美郷町  
 [震度4] 島根県、鳥取県(米子市、境港市、日野町)、広島県、岡山県、愛媛県  
 ※中部地方から九州地方にかけて計26府県(長野県～熊本県)で震度1以上を観測

### 2 被害状況(17日午後2時現在。島根県公表)

- (1) 人的被害 重傷2名(大田市)  
 軽傷7名(出雲市3名、大田市2名、雲南市1名、奥出雲町1名)
- (2) 住家被害 半 壊 45棟(大田市45棟)  
 一部損壊808棟(大田市795棟、川本町1棟、美郷町12棟)
- (3) 非住家被害 半 壊 16棟(大田市16棟)  
 そ の 他102棟(大田市102棟)
- (5) 住民避難 大田市 4人・1箇所(最大時約140人)
- (4) 断 水 14日15時に解消(最大時1,100戸程度)
- (5) 対策本部 [災害対策本部] 島根県、大田市  
 [災害警戒本部等] なし(最大時12市町設置)
- (7) 鳥取県への応援要請  
 13日17:35、大田市からの要請に基づき、鳥取県へ倉吉市職員3名の派遣を要請  
 派遣期間:4月14日～15日  
 支援内容:住家被害認定や罹災証明書発行に係る業務支援

# 道の駅「気高(仮称)」の名称募集について

平成 30 年 4 月 20 日  
道 路 企 画 課

山陰道「浜村鹿野温泉 IC」近傍に鳥取市と鳥取県が整備中の一体型の道の駅「気高(仮称)」について、多くの方々に親しみをもって利用していただける道の駅となるよう、名称の募集が鳥取市により開始されました。

## 1 名称募集の概要について

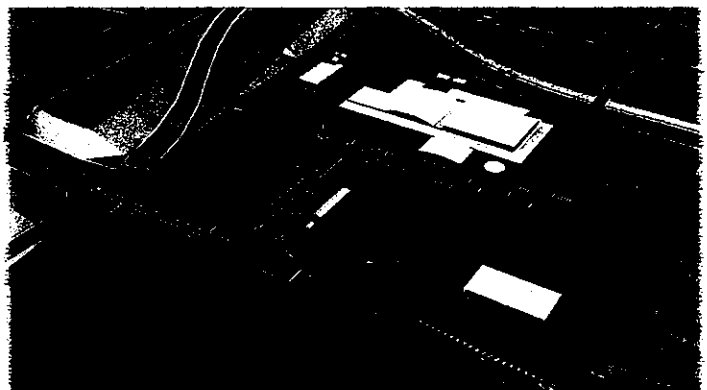
- 募 集 期 間 4月13日(金)～4月30日(月)
  - 募 集 内 容 地域の魅力を表した親しみやすい名称
  - 応募資格等 1人1点とし、応募資格は不問
  - 決 定 方 法 応募作品の中から、鳥取市が設置する名称選考委員会により選考し、選考結果をもとに鳥取市長が決定(5月下旬の予定)。
  - 表彰及び副賞 優秀賞1点 賞状、副賞(とっとり市ポイント10,000円相当)  
佳作 1点 賞状、副賞(とっとり市ポイント 5,000円相当)
- ※「とっとり市(いち)」は鳥取市が運営するインターネットショッピングモールであり、鳥取市で生産・製造された農林水産物など幅広い商品が取り扱われています。

## 2 道の駅「気高(仮称)」の概要について

- 整 備 期 間 平成28年度～平成30年度
- オープン予定 平成31年春予定
- 全体事業費 約1,897百万円(県:約600百万円、市:約1,297百万円)
- 整備施設概要

施設	整備	施 設 内 容
駐車場	県	小型車72台(うち多目的2台)、大型車21台、二輪車4台
	市	小型車47台(うち多目的1台、EV充電器1台)、RVパーク2台、大型車1台、二輪車11台
駅舎	県	情報・休憩コーナー、トイレブース
	市	体験加工室・地域交流室、農畜産・海産加工室、レストラン、物産販売コーナー、ファーストフード、飲食コーナー、PC情報・案内所、コンビニなど
その他	市	足湯、エネルギー備蓄倉庫(木質バイオマス、非常用発電機)、イベント・休憩スペース、多機能用地(イベント広場・臨時駐車場)、ガソリンスタンド

完成イメージ図



# 県管理河川の減災対策協議会の開催について

平成30年4月20日

河 川 課

水害から県民のいのちを守るため、昨年5月に県管理河川の減災対策協議会を立ち上げ、台風による豪雨対応等を検証しながら、減災対策を検討してきたところですが、第2回協議会を以下のとおり開催しました。

今回、概ね5年間で実施する「水害に対するソフト・ハードの取組」(アクションプラン)をとりまとめ、市町村・県・国が連携して、平成33年度までを目途に水害対策を本格的に推進していくことを確認しました。

## 1 県管理河川の減災対策協議会

<b>&lt;設置単位等&gt;</b>	
(1) 設置単位	3大河川を代表とした圏域に分割して協議会を設置 (東部地区：千代川圏域、中部地区：天神川圏域、西部地区：日野川圏域)
(2) 構成員 (委員)	市町村長、国土交通省(河川国道事務所長等)、気象台長、水防団 県危機管理局長、県土整備部長、県土整備局(事務所)長、県企業局長
(オブザーバー) (事務局)	国土交通省中国地方整備局河川部 鳥取県県土整備部河川課
<b>&lt;開催経過&gt;</b>	
・平成29年5月	第1回協議会(設立趣旨の確認、減災のための目標、今後の進め方など)
・平成29年8~11月	第1~3回幹事会(29台風豪雨を教訓とした警戒・避難対策や取組方針等の検討)
<b>&lt;第2回協議会の開催日&gt;</b>	
・千代川圏域(平成30年2月7日)、天神川圏域(平成30年2月8日)、日野川圏域(平成30年3月22日)	

## 2 協議会における市町村長の主な意見

(避難)	・大規模洪水時の広域避難(避難所の設置や受け入れ体制の構築、判断基準など)が課題である。 町内部だけでなく、関係機関が連携したタイムラインの作成が必要である。
(水防活動)	・水防団員が不足する中、危険箇所の重点監視や量水標増設による水防活動の効率化が必要である。
(内水対策)	・樋門・水門操作の関係機関による情報共有と住民への情報提供が必要である。 ・内水を含めた浸水危険箇所の把握と被害軽減策が必要である。
(ダム放流情報)	・ダム放流情報の住民への確実な提供や訓練が必要である。
(河川情報)	・河川の状況をリアルタイムで確認できる河川監視カメラや水位計の増設が必要である。
(その他)	・昨年の出水対応で、避難勧告の難しさ、国・県からの情報提供の重要性を実感している。 ・支え愛の取組については福祉部局・危機管理部局の両方が関わっていく必要がある。 ・内水対策について、ハード対策、ソフト対策とも、各管理者が連携した取組をお願いしたい。 ・住民だけではなく、観光客や外国人に対する情報提供も必要ではないか。

## 3 水害に対するソフト・ハードの取組(アクションプラン)の概要

### 【5年間で達成すべき目標】

河川整備率が低く、また、急流河川で水位上昇が急激な県管理河川の特性を踏まえ、発生しうる大規模水害に対し、ハード整備とソフト対策が一体となったとっとりらしい防災・減災対策に取り組み、「地域防災力の強化」「安全・安心で活力ある地域づくり」を目指す。

### 【とっとりらしい水害対策の推進】

#### ○鳥取の強み「支え愛」による地域防災力の強化による確実な避難

- ・自助・共助の防災体制づくりを推進するため、防災及び福祉部局と連携し、地域で考え地域で作成する「支え愛防災マップ」の作成支援とマップを活用した防災訓練を実施する。
- ・住民の自発的で適切な避難行動を促進するため、水害の恐さを実感してもらう「体験型」「実践型」の防災学習・防災教育等を実施する。

#### ○鳥取方式による地域と一体となった水防・河川巡視点検

- ・出水時の水防団・市町村との連携による水防活動及び河川巡視点検を実施する。
- ・住民からの情報提供等による効率的な水防体制と双方向の連絡体制づくりを行う。
- ・鳥取大学と連携したICT(ドローン等)の活用による河川管理の効率化と河川巡視・点検を担う人材の育成(住民・防災ボランティア等)を行う。

#### ○鳥取県の実情を踏まえた水害に対する警戒・避難情報の提供

- ・水位周知河川以外276河川で簡易想定による概ねの浸水範囲等を情報提供する。
- ・水位周知河川の指定を拡大する。

## 【平成30年度以降の主な取組】

### ＜減災対策協議会の進め方＞

- 市町村単独では解決できない課題について、代表地域等で検討会やワーキンググループ等により市町村と県が連携してモデル的に検討し、減災対策協議会等で情報共有・検証しながら、取組を拡大していく。
- 出水期前に、減災対策協議会を開催し、平成30年度の具体的な取組や市町村・県・国の連携体制などを確認した上で、減災対策に取り組んでいく。

### ＜本県独自の取組＞

#### ■簡易浸水想定による地域の支え愛マップづくり・訓練等を通じた地域防災力の向上

- ・市町村と県が連携しながら、優先する箇所から順次、中小河川の簡易浸水想定等を活用した地域の支え愛マップづくりや市町村のハザードマップ作成、訓練等に取り組み、地域防災力の向上を図っていく。  
(支え愛マップづくり・訓練等の実施箇所：智頭町等)

#### ■流域一体となった総合的な流木対策の推進

- ・今年度のトラブルスポットの抽出結果を踏まえ、ワーキンググループ等で森林、治山・砂防、河川、ため池等の関係機関が連携しながら、平成30年度に過去に流木被害等のあった代表流域3流域(若桜町等)において、流域一体となったソフト・ハードの流木対策を検討予定であり、平成31年度以降は代表流域で対策を実施していくとともに、他河川への取組を拡大していく。

#### ■水防団と協働による効率的な水防活動の推進

- ・代表河川で市町村・水防団と一緒に現地合同点検して重点監視区間を設定し、重点監視を試行運用するとともに、水防団員からスマートフォン等で現地危険情報を提供し避難情報としての活用するなど、ICTを活用した効率的な水防活動について検討していく。(鳥取市水防団等)

### ＜平成29年度の台風豪雨を教訓とした警戒・避難等の取組＞

#### ■浸水常襲地区等における樋門等の確実な運用と警戒避難体制の整備、内水を含めた排水対策の推進

- ・過去に浸水被害のあった地域等を代表地域とし、国・県・関係市町村が役割分担のもとで連携しながら、検討・訓練等を実施し、その結果を検証し、取組を拡大していく。(鳥取市、倉吉市、米子市等)

#### ■ダム放流情報の伝達方法や連絡体制の検討及び訓練の実施

- ・出水期までに、代表地域で県・関係市町村等がダム放流情報伝達や警戒・避難の訓練を実施し、取組を拡大していく。(賀祥ダム(南部町)等)

### ＜その他市町村と連携した主な取組＞

#### ■大規模洪水浸水想定を踏まえた広域避難計画検討

- ・国・県管理河川の大規模洪水時の広域避難計画やタイムライン等について、代表地域で検討会等により国・県・市町村が連携し検討していく。  
(日野川水系タイムライン検討会等：国・県・米子市・伯耆町・南部町・日吉津村等)

#### ■要配慮者利用施設の避難確保計画策定や避難訓練の促進

- ・要配慮者利用施設管理者、市町村、県が協力して代表箇所での避難確保計画を作成し、協議会等で情報共有しながら、避難確保計画の策定と避難訓練の実施を促進していく。(米子市等)

#### ■見やすい河川監視カメラ、低コスト水位計設置による洪水時の監視体制の強化

- ・低コストの水位計設置：玉川他24箇所(H29補正)前倒しで実施予定。

## 平成 29 年度 第 2 回 湖山池会議の開催概要について

平成 30 年 4 月 20 日  
 暮らしの安心局水環境保全課  
 河 川 課  
 水産振興局水産課

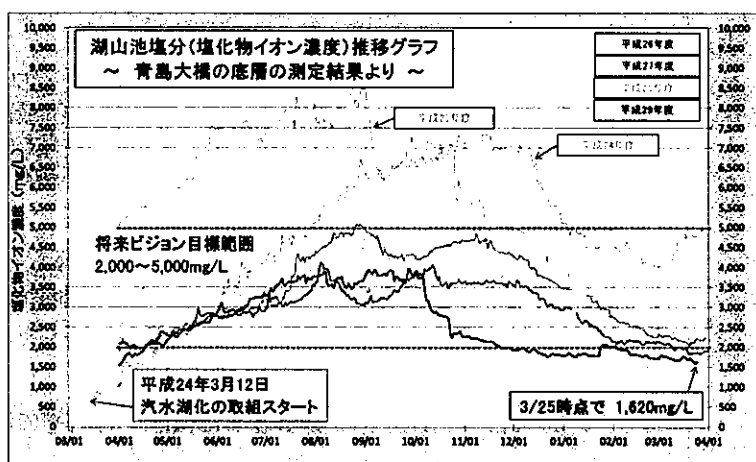
平成30年3月27日に平成29年度第2回湖山池会議を開催したので、その概要を報告する。  
 (出席者：県 岡村統轄監、鳥取市 羽場副市長ほか関係部長)

### 1 平成29年度の水質状況報告

平成29年度の塩分濃度等の水質状況について報告した。

塩分濃度	・概ね年間通じて将来ビジョンに定める 2,000~5,000mg/L の範囲で管理できている。(平成 26 年度以降、概ね範囲内で推移)
水質指標	・全体的に平成 25 年度に水質が悪化した状況から改善している。 ・直近の 5 年間は、全りん、全窒素は概ね改善傾向と見られ、将来ビジョン計画目標値に近づいている。COD は平成 28 年度に引き続き、将来ビジョン計画目標値を達成した。 ・植物プランクトンの増殖がみられたことから透明度は平成 28 年度までに比べて低下しているが、汽水化以前に繁茂していたアオコ等を抑制した効果は保たれている。

区分	H25年	H28年	H29年	ビジョン計画目標値
COD (7.5%値)	7.9	5.5	5.1	5.5 mg/L 以下
全窒素 (年平均値)	1.20	0.67	0.76	0.60 mg/L 以下
全りん (年平均値)	0.190	0.092	0.073	0.066 mg/L 以下
透明度 (4月~11月 平均値)	0.75	0.77	0.64	1.0 m 以上



### 2 平成 30 年度の水質管理方針

有識者で構成する環境モニタリング委員会の助言等を踏まえ、次の方針を決定した。

塩分管理	○ 春季は、目標値の範囲内 (2,000~5,000mg/L) において可能な限り低値で推移させる。 ○ 夏季は、溶存酸素の確保に最大限配慮しつつ、将来ビジョンに定める範囲内の管理をめざす。
水門操作	○ 塩分濃度が低く、酸素濃度が高い表層部分の海水流入が可能なオーバーフロー構造(上越通水)の水門で、効果検証等を行い、かつ、溶存酸素量を監視しつつ、きめ細やかな水門操作を実施する。

### 3 平成 29 年度の主な事業実施報告

県・市の関係部署の主要事業について、事業概要、結果等を報告した。

県・河川課、 鳥取県土整備事務所	・湖山水門(新水門)運用の効果検証 →新水門(平成29年5月運用開始)は塩分濃度上昇の抑制、溶存酸素の改善に効果的であると考えられ、引き続き効果検証する。 ・覆砂の試験施工と効果検証(中間報告) →水深や場所で覆砂後の泥の堆積状況や効果継続の程度が異なっており、引き続き試験施工・効果検証する。
県・水産課	・湖山池におけるヤマトシジミの資源量等 →平成29年度は豊富に確認され、夏以降、漁獲量も昨年を大きく上回った。今後も順調な漁獲が見込まれる。(21.6トン 前年(9.6トン))
市・下水道企画課、生活環境課、 協働推進課	・周辺下水道の整備推進(整備率88.1%(前年度87.0%)) ・住民との意見交換会 →主要な意見として観光・利活用の推進を求める声が目立った。
県・東部振興課 市・協働推進課	・湖山池に関する利活用の推進について →イベントや情報発信の状況を紹介した。

# 平成30年度鳥取県水防訓練の実施について

平成30年4月20日  
河 川 課

洪水による大規模水害の発生を未然に防止し、被害を最小限に食い止めるためには、ハード事業、ソフト事業の推進はもとより、それぞれの地域における水防活動が重要な役割を担っており、この水防活動は、関係機関との密接な連携のもとに迅速かつ円滑に行う必要があります。

このたびの水防訓練は、佐陀川における洪水を想定し、国土交通省、水防管理団体を始めとする関係機関及び地域住民の参加のもと、情報伝達・水防工法・人命救助・避難訓練等を行うことにより、関係機関の意識高揚を図り、水防工法技術の向上に努めるとともに、地域住民に対し水防に係る普及活動を図り、水防体制の確立を図ることを目的として実施します。

## 1 開催日時

平成30年5月20日(日)  
午前9時～正午(小雨決行)

## 2 場 所

日野川右岸河川敷(米子市古豊千)

## 3 日 程

### (1) 開会(午前9時)

- ・水防本部長挨拶
- ・来賓挨拶

### (2) 訓練(午前9時20分～11時50分)

- ・水防工法訓練、避難訓練、人命救助訓練、情報伝達訓練、炊飯訓練等

※今回は新たに次の訓練に取り組みます。

- ・災害時要配慮者利用施設の避難訓練参加  
博愛苑(特別養護老人ホーム)  
参加予定35名(利用者10名、職員25名)  
◆施設内にて垂直避難訓練

### (3) 閉会(午前11時55分)

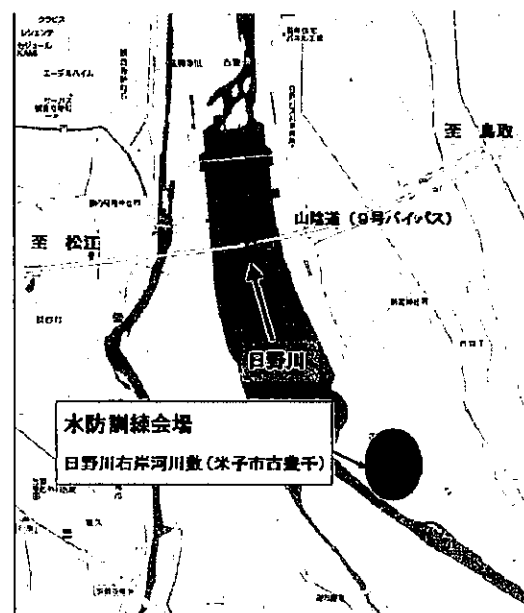
- ・講評(県土整備部長)

## 4 主 催 鳥 取 県

## 5 参加団体(35団体)

鳥取県警察本部、米子警察署、中国管区警察局鳥取県情報通信部、陸上自衛隊第8普通科連隊、日本赤十字社鳥取県支部、国土交通省日野川河川事務所、鳥取西部広域行政管理組合消防局、米子市消防団、境港市消防団、日吉津村消防団、大山町消防団、南部町消防団、伯耆町消防団、日南町消防団、日野町消防団、江府町消防団、米子市赤十字奉仕団、南部町赤十字奉仕団、鳥取県西部安全赤十字奉仕団、鳥取県西部建設業協会、鳥取大学地域安全工学センター、米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町、鳥取県水防本部、西部総合事務所米子県土整備局、西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局、大高地区自治会、特別養護老人ホーム博愛苑

【水防訓練会場位置図】

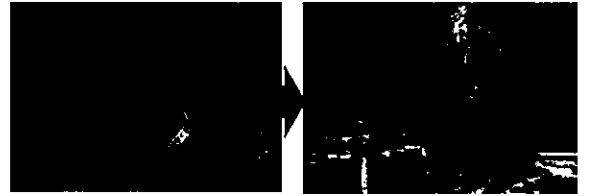


# 大分県中津市における土砂災害を受けての土砂災害警戒区域の緊急点検について

平成30年4月20日  
治山砂防課

## 1 土砂災害の状況

- ・大分県中津市耶馬溪町で、4月11日未明に集落裏の斜面が高さ約100m、幅約200mにわたり崩落した。
- ・4月18日10時00分時点での被害状況は、死者3名、重傷・軽傷者については調査中で、現在も捜索活動が続けられている。
- ・災害発生当時の気象状況は、4月8日以降0.5mm以上の降雨は観測されていなかった。
- ・被災箇所は、平成29年3月に土砂災害警戒区域等に指定されており、落石防止柵は設置されていたものの、本格的な土砂崩落に対応できるものではなかった。



## 2 対応方針

### (1) 緊急点検の実施

- ・県内の土砂災害警戒区域（急傾斜地）において、今回の被災箇所と類似した箇所について、斜面の緊急点検を実施する。

【土砂災害警戒区域等の指定状況】

(H30.3末時点)

	急傾斜	土石流	地すべり	合計
イエロー区域	3,470	2,670	119	6,196
レッド区域	3,375	1,830	0	5,205

※ 土砂災害警戒区域（イエロー区域） 100.0% (H27指定完了)

土砂災害警戒特別区域（レッド区域） 99.7% (H30.3末時点)

- ・類似箇所の抽出は、地形・地質の情報をもとに抽出を行う。  
[地形]：斜面高、斜面勾配（抽出の基準値は今後検討）、上部が比較的緩やかで下部が急崖な箇所  
[地質]：火山砕屑岩で形成されている箇所
- ・抽出箇所の点検方法については、今後、専門家の意見を参考にしながら決定する。

### (2) ソフト施策による前兆現象の周知

- ・土砂災害の前兆現象について、現在展開している次のソフト施策において注意喚起と県・市町村への通報を周知する。

ア 出前裏山診断

イ 出前講座・防災学習

ウ 「支え愛マップづくり」の作成支援

エ 「とりネット注目情報（土砂災害の注意について）」及び「県政だより（6月号）」による周知（URL：<http://www.pref.tottori.lg.jp/239601.htm>）

[前兆現象の例]

- ・小石がパラパラ落ちてくる
- ・沢や井戸の水が濁る
- ・山鳴りがする
- ・斜面から水がふき出す

## ユネスコ世界ジオパーク鳥取隠岐間超高速船チャーター運航結果について

平成30年4月20日  
空港港湾課

昨年度の「隠岐ジオパーク」ユネスコ世界ジオパーク再認定記念及び今年度の「山陰海岸ジオパーク」再認定に向けた機運醸成と両ジオパークへの誘客促進のため、超高速船「レインボージェット」を、鳥取・島根両県のユネスコ世界ジオパーク間でチャーター運航しました。

### 1 実施日

平成30年4月13日（金）

### 2 実施者

- ・鳥取港振興会（鳥取県・鳥取市）
- ・隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会（島根県・隠岐4町村）

### 3 区間ごとの発着時刻・乗船者数等

#### (1) A区間

○行 程：七類港11時00分発～鳥取港12時18分着

○乗船者数：62名（韓国旅行社(DBS利用者)40名、県内旅行社3名、ジオガイド12名、関係者7名）

※韓国ツアー客のほか、「隠岐ジオパーク」「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」ガイドが来県し、「山陰海岸ジオパーク」ガイドと、3ジオパークガイド交流を行った。

#### (2) B区間

○行 程：鳥取港12時30分発～西郷港14時29分着

○乗船者数：97名（関西旅行社39名、県内旅行社37名、鳥取環境大学12名、関係者9名）

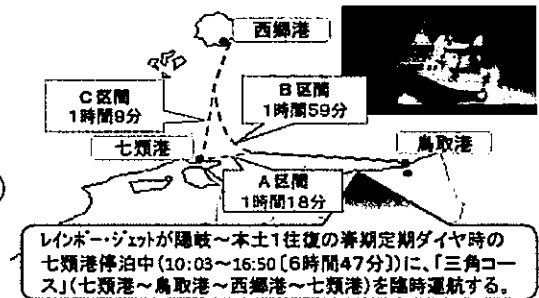
※関西や県内からのツアー客のほか、ジオパークを学ぶ公立鳥取環境大学生等が利用し、「隠岐ユネスコ世界ジオパーク」でフィールドワークを行った。

#### (3) C区間

○行 程：西郷港14時37分発～七類港15時46分着

○乗船者数：乗船者なし

※県内を中心にツアー募集（定員40名）を行ったが、申込数が少なく、催行中止となった。



### [乗船者内訳]

区間	A区間	B区間	C区間	合計
航路	七類港→鳥取港	鳥取港→西郷港	西郷港→七類港	
発着時間	11:00⇒12:18	12:30⇒14:29	14:37⇒15:46	
乗船者数	観光 43名 (韓国旅行社40名 県内旅行社3名)	76名 (関西旅行社39名 県内旅行社37名)	乗船者なし	119名
	交流 19名 (ジオガイド12名 関係者7名)	21名 (鳥取環境大学12名 関係者9名)	乗船者なし	40名
	合計	62名	97名	乗船者なし

### 4 鳥取港岸壁での催し

- ・入港記念セレモニー（鳥取県知事・鳥取副市長挨拶、和太鼓・保育園児ダンス披露）
- ・山陰海岸ジオパーク紹介コーナー
- ・無料ふるまいコーナー（ハマチのつみれ汁）
- ・保育園児、ゆるキャラ（トリピー等）らによるお見送り



### 5 今後の取り組み

今回の結果を踏まえ、「山陰海岸」及び「隠岐」ユネスコ世界ジオパーク、「島根半島・宍道湖中海」日本ジオパークを結ぶ航路としての活用について、島根県関係者等と検討を行います。



## クルーズ客船「ばしふいっく びいなす」の鳥取港寄港について

平成30年4月20日  
空 港 港 湾 課

株式会社農協観光鳥取支店から、クルーズ客船「ばしふいっく びいなす」を利用した鳥取港発のツアー募集が開始されました。

クルーズ客船「ばしふいっく びいなす」の鳥取港寄港は、昨年10月に続き、2年連続となります。

なお、鳥取港振興会（会長：鳥取市長）では、県外向け広報宣伝経費や県外集客に係るバス借上経費等を支援するとともに、出港セレモニーを実施する予定です。

### 1 寄港日時

平成30年9月20日(木) [入港：7:00予定、出港：11:00]

### 2 旅行主催者

株式会社農協観光 鳥取支店（鳥取市末広温泉町723）



### 3 クルーズツアー概要

#### (1) ツアー名

優雅なクルーズ船「ばしふいっく びいなす」で航く！  
『明治維新の発祥地 歴史ある山口の旅』

#### 「ばしふいっく びいなす」の概要

- ・船社：日本クルーズ客船(株)[大阪市]
- ・総トン数：26,594トン、乗客数：620名
- ・客室数：238室
- ・全長183m、幅25m

#### (2) 行程の一例（鳥取発着ツアー）

##### ① 1泊2日コース

日(曜日)	行程
9/20(木)	鳥取港11:00～～(鳥取砂丘沖合)～～(隠岐:国賀海岸沖)～～～ [船中(泊)]
9/21(金)	～～下関港9:00==[貸切バス]==山口観光(火の山公園、山口ゆめ花博、瑠璃光寺五重塔等)==鳥取

##### ② 2泊3日コース

日(曜日)	行程
9/20(木)	鳥取港11:00～～(鳥取砂丘沖合)～～(隠岐:国賀海岸沖)～～～ [船中(泊)]
9/21(金)	～～下関港9:00==[貸切バス]==山口観光(唐戸市場、山口ゆめ花博、秋芳洞等)==萩(泊)
9/22(土)	ホテル==[貸切バス]==山口観光(松下村塾、萩・明倫学舎等)==鳥取

#### (3) その他

山口発着ツアー（山口への帰路に鳥取港発クルーズ客船を利用）も募集予定。

#### 【参考】鳥取港・クルーズ客船の寄港実績

年度	(回数)	寄港したクルーズ客船
H29	(1回)	ばしふいっくびいなす
H26	(3回)	ばしふいっくびいなす(2回)、につぼん丸(1回)
H25	(2回)	ばしふいっくびいなす(2回)
H24	(2回)	ばしふいっくびいなす(1回)、クラブハーモニー(1回)
H23	(2回)	ばしふいっくびいなす(2回)
H22	(4回)	ばしふいっくびいなす(2回)、につぼん丸(1回)、ふじ丸(1回)
H21	(1回)	ふじ丸
H17	(1回)	ばしふいっくびいなす
H11	(1回)	ふじ丸

## 鳥取砂丘コナン空港 コンセッション実施契約に係る契約締結式の開催について

平成30年4月20日

空港港湾課

○鳥取砂丘コナン空港では、民間のアイデア、経営ノウハウ、全国的なネットワークを活用したエアポートセールス、空港の更なる魅力向上等を目的に、コンセッション方式による民間委託の導入検討を進めてきたところですが、平成30年2月議会において、鳥取空港ビル(株)への運営権の設定について可決されました。

○このたび、県と鳥取空港ビル(株)との協議が整い、コンセッションに関する実施契約を締結する運びとなりましたので、本日、知事公邸において、鳥取空港ビル株式会社の馬場進代表取締役との契約締結式を行います。

○今後は、7月1日の鳥取空港ビル(株)による運営開始に向けて、県からの業務引継ぎ、空港の保安管理に関するもの等各種法的手続を進めていくこととなります。

### 1 契約締結式の概要

- (1) 日時：平成30年4月20日(金) 13時30分～13時50分
- (2) 場所：知事公邸 第1応接室
- (3) 出席者：鳥取空港ビル株式会社 代表取締役 馬場 進(ばば すずむ)氏  
専務取締役 野口 稔浩(のぐち としひろ)氏  
総務部総務課長 宮部 久照(みやべ ひさてる)氏  
鳥取県 知事 平井 伸治

### 2 実施契約の内容

- (1) 契約名：鳥取県営鳥取空港特定運営事業等公共施設等運営権実施契約  
※PFI法第22条第1項に基づくもの
- (2) 契約の相手方(運営権者)：鳥取空港ビル株式会社 代表取締役 馬場 進
- (3) 契約締結期間：平成30年4月20日～平成36年3月31日
- (4) 事業期間：平成30年7月1日～平成36年3月31日(5年9ヶ月)
- (5) 運営の内容：
  - ①空港運営等事業(空港基本施設、空港航空保安施設、国際会館(一体化による増築部を含む)、駐車場施設等)
  - ②環境対策事業(例：騒音測定事業に対する協力)
  - ③附帯事業 ・ハイジャック等防止対策  
・協議会等への参画  
・運営権者が提案する事業、業務(空港の就航促進、利用促進、空の駅化に関する事業)
  - ④任意事業(空港機能を阻害しない範囲で行う運営権者の独自事業)
- (6) 交付金額(予定)：平成30～36年度 計2,452,800千円 ※運営交付金として、毎年度定額交付  
(大規模修繕費及び除雪費用については、実績により精算し、増額又は減額)

### 3 コンセッション導入の主な経過・今後の予定

- 平成29年12月28日 特定運営事業等の実施方針の公表、特定事業の選定
- 平成30年1月29日 運営権者候補者審査委員会の開催  
⇒1月31日 鳥取空港ビル(株)を運営権者候補者として選定
- 3月23日 平成30年2月議会(附議案上程)において、鳥取空港ビル(株)への運営権の設定
- 4月20日 公共施設等運営権実施契約の締結 ※今回
- ～6月30日 県から鳥取空港ビル(株)への業務引継、航空法・空港法等の各種手続
- 7月1日 鳥取空港ビル(株)による公共施設運営事業の開始

### 4 現在の取組状況

平成30年3月末に空港ターミナルビルの一体化工事は完成し、引続き入居するテナント工事(入居者が実施)、国内線ターミナル機能強化(空港ビル実施(県補助))、駐車場整備(県)、国際会館の施設改修(県)、コナン化装飾の充実(県)等を行い、7月のグランドオープンを迎える予定。

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】		県土整備部					
主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	入札方式
道路企画課 〔中部総合事務所 県土整備局〕	国道482号(福本工区)災害 防除工事(1工区)(交付金)	東伯郡 三朝町 福本	株式会社井木組 代表取締役 井木 敏晴	163,620,000円 (予定価格) 173,799,000円	平成30年 3月16日 ～ 平成30年11月22日	平成30年3月16日	制限付 一般競争入札 (4社)
道路建設課 〔中部総合事務所 県土整備局〕	国道313号(倉吉道路)橋梁 工事(農道橋)(補助改良) (経済対策)	倉吉市 北野	株式会社クラエー 代表取締役 西村 博文	118,388,000円 (予定価格) 128,147,400円	平成30年 3月22日 ～ 平成31年 1月 8日	平成30年3月22日	制限付 一般競争入札 (10社)
道路建設課 〔西部総合事務所 日野振興センター 日野県土整備局〕	県道横田多里線(上萩山2 工区)道路改良工事(その 3)(交付金改良)(経済対 策)	日野郡 日南町 上萩山	株式会社かわばた 代表取締役 川端 雄勇	182,628,000円 (予定価格) 196,129,080円	平成30年 3月28日 ～ 平成30年12月 7日	平成30年 3月28日	制限付 一般競争入札 (6者)
河川課 〔鳥取県土整備 事務所〕	露谷川河川改修工事(橋りよ う下部工)	鳥取市 青谷町 善田	やまこう建設株式会社 代表取締役社長 岡田 幸一郎	158,868,000円 (予定価格) 170,575,200円	平成30年 3月26日 ～ 平成31年 1月15日	平成30年3月26日	制限付 一般競争入札 (18社)
河川課 〔中部総合事務所 県土整備局〕	北条川放水路改修工事(護 岸工)(6工区)(経済対策)	東伯郡 北条町 弓原	株式会社井中組 代表取締役 井中 紳二	115,344,000円 (予定価格) 123,540,120円	平成30年 3月 2日 ～ 平成30年10月31日	平成30年3月2日	制限付 一般競争入札 (15社)
河川課 〔中部総合事務所 県土整備局〕	北条川放水路改修工事(護 岸工)(7工区)(経済対策)	東伯郡 北条町 弓原	馬野建設株式会社 代表取締役社長 馬野 慎一郎	150,768,000円 (予定価格) 162,133,920円	平成30年 3月26日 ～ 平成30年11月29日	平成30年3月26日	制限付 一般競争入札 (12社)
治山砂防課 〔中部総合事務所 県土整備局〕	吉田地区復旧治山工事(4 工区)(経済対策)	東伯郡 三朝町 吉田	有限会社若建設工業 代表取締役 若原 麻記	108,000,000円 (予定価格) 111,539,160円	平成30年 3月26日 ～ 平成31年 2月 4日	平成30年3月26日	制限付 一般競争入札 (4社)

## 【変更分】

## 県土整備部

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
道路建設課	国道178号(岩美道路)橋梁下部工事(1工区)(補助)	岩美郡 岩美町 浦富	国道178号(岩美道路)橋梁下部工事(1工区)(補助)原田・シユ一ケン特定建設工事共同企業体 代表者 原田 貴	(当初契約額) 259,200,000円  (第1回変更後契約額) 262,773,720円 (変更額) 〔 3,573,720円 〕	平成29年6月15日 ～ 平成30年3月15日  (変更後工期) 平成30年6月15日	(当初契約年月日) 平成29年6月15日  (第1回変更契約年月日) 平成30年3月12日	-  配合試験の結果、施工ヤード造成に係る安定処理工に使用する固化材添加量が増えたことによる工事費の増。 ・基礎杭に使用する鋼管の調達に不測の日数を要したことによる工期延伸。
道路建設課	国道313号(倉吉関金道路)橋梁上部工事(小鴨1号橋(P4-A2))(補助改良)	倉吉市 小鴨	国道313号(倉吉関金道路)橋梁上部工事(小鴨1号橋(P4-A2))(補助改良)富士ビー・エス・高野組特定建設工事共同企業体 代表者 大村 康三郎	(当初契約額) 463,860,000円  (第1回変更後契約額) 467,021,160円 (変更額) 〔 3,161,160円 〕	平成29年10月20日 ～ 平成30年10月19日  (変更後工期) 平成30年10月19日	(当初契約年月日) 平成29年10月19日  (第1回変更契約年月日) 平成30年3月23日	-  ・コンクリート打設時の安全性を考慮して仮設材を強化したことによる工事費の増。
道路建設課 〔 鳥取県土 整備事務所 〕	国道178号(岩美道路)改良工事(1工区)(補助)(経済対策)	岩美郡 岩美町 陸上	やまこう建設株式会社 代表取締役社長 岡田 幸一郎	(当初契約額) 143,964,000円  (第1回変更後契約額) 144,170,280円 (変更額) 〔 206,280円 〕  (第2回変更後契約額) 144,230,760円 (変更額) 〔 60,480円 〕	平成29年1月5日 ～ 平成29年9月19日  (変更後工期) 平成30年3月15日	平成29年1月5日  (第1回変更契約年月日) 平成29年9月15日  (第2回変更契約年月日) 平成30年3月15日	-  ・2月上旬に発生した崩落法面の抑止工を実施することによる工事費の増。 ・抑止工の供材に日数が必要となったことによる工期延長。  ・地山取付に伴う法面工の増。 ・残土搬出先の工事との工程調整による工期延伸。

【変更分】

果土整備部

主務課	工 事 名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工 期	契約年月日	変更理由
道路建設課 西部総合事務所 〔米子県土整備局〕	県道溝口伯太線(阿賀～原 工区)改良工事(2工区)(防 災安全交付金)(経済対策)	西伯郡 南部町 阿賀 ～原	(株)平井組 代表取締役 西澤 賢史	(当初契約額) 107,892,000円	平成29年2月16日 ～ 平成29年10月6日	(当初契約年月日) 平成29年2月15日	-
				(第1回変更後契約額) 107,892,000円 〔(変更額) 0円〕	(変更後工期) 平成30年3月20日	(第1回変更契約年月日) 平成29年9月28日	旧橋撤去後の橋樑整備について、 河川管理者(国交省)との調整に時間 を要し、河川内作業が出水期前に完 了できなかったため、出水期期間中 の工事中止を行ったことによる工期延 長。
				(第2回変更後契約額) 106,193,160円 〔(変更額) △1,698,840円〕	(変更後工期)	(第2回変更契約年月日) 平成29年12月27日	河川護岸施工に際し、掘削時に多 量の湧水が発生したことにより、対 策・後討及び河川管理者(国交省・ 県)との協議に不測の日数を要したた め、施工内容を見直し、予定していた 工事の一部を取り止めたことによる工 事費の減。
河川課 鳥取県土 整備事務所	霧谷川河川改修工事(経済 対策)	鳥取市 青谷町 善田	八幡コーポレーション株式会社 代表取締役 玉木 裕一	(当初契約額) 97,416,000円	平成29年3月7日 ～ 平成29年10月27日	平成29年3月6日	-
				(第1回変更後契約額) 96,927,840円 〔(変更額) △488,160円〕	(変更後工期) 平成30年3月9日	(第1回変更契約年月日) 平成29年10月27日	調査ポーリングの結果、想定より支 持層の位置が浅く、地盤改良の範囲 が減となったことによる工事費の増。 ・上記改良範囲の検討及び機械の手 配に時間を要したこと等による工期延 長。
				(第2回変更後契約額) 97,232,400円 〔(変更額) 304,560円〕	(変更後工期) 平成30年3月23日	(第2回変更契約年月日) 平成30年3月9日	・地盤改良の範囲の一部に地中構造 物があり、改良が困難であったため、 地盤改良の工法を変更したことによる 工事費の増。 ・上記後討に伴う工期延長。
(第3回変更後契約額) 101,537,280円 〔(変更額) 4,304,880円〕	(第3回変更後契約年月日) 平成30年3月23日	(第3回変更契約年月日) 平成30年3月23日	旧橋の取り壊しにあたり、想定より Co量が多く、取り壊し及び処分にかか る費用が増えた。				

【変更分】

県土整備部

主務課	工 事 名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工 期	契約年月日	変更理由
河川課 〔中部総合事務所 県土整備局〕	北条川放水路改修工事(護岸工)(4工区)	東伯郡 北栄町 弓原	株式会社井中組 代表取締役 井中 紳二	(当初契約額) 134,352,000円  (第1回変更後契約額) 134,352,000円 (変更額) 〔 0円 〕	平成29年 9月28日 ～ 平成30年 3月15日  平成30年 5月31日	(当初契約年月日) 平成29年9月28日  (第1回変更後契約年月日) 平成30年3月13日	-  矢板護岸施工について、現地測量を行った結果、既設矢板との接合部において、特注品が必要となり、製作に時間を要したことによる工期延長。
河川課 〔西部総合事務所 日野振興センター 日野県土整備局〕	日野川震地区河川改修工事	日野郡 日南町 霞	株式会社コーセー 代表取締役 川端 登志一	(当初契約額) 127,332,000円  (第1回変更後契約額) 135,025,920円 (変更額) 〔 7,693,920円 〕	平成29年 9月29日 ～ 平成30年 3月20日  (変更後工期) 平成30年 6月29日	(当初契約年月日) 平成29年 9月29日  (第1回変更後契約年月日) 平成30年3月20日	-  河道拡幅のため左岸側の掘削を行っていたところ当初想定していた岩盤が確認されたことから、岩掘削が必要となったことによる工事費の増。 ・上記作業に伴う工期延長。
空港港湾課 〔 営繕課 〕	鳥取砂丘コナクン空港ターミナルビル一体化工事(建築)	鳥取市 湖山町西 4丁目	鳥取砂丘コナクン空港ターミナルビル一体化工事(建築)大成建設・大成建設特定建設工事共同企業体 代表者 大成建設株式会社中国支店 執行役員支店長 木村 晋	(当初契約額) 480,600,000円  (第1回変更後契約額) 499,633,920円 (変更額) 〔 19,033,920円 〕	平成29年 6月10日 ～ 平成30年 3月20日  (変更後工期) 平成30年 3月26日	(当初契約年月日) 平成29年6月9日  (第1回変更後契約年月日) 平成30年3月20日	-  基礎工事の掘削影響範囲に確認された通信配線の保護を行う山留の設置等に伴う工事費の増。 ・上記工事により日数が必要となったことによる工期延長。
空港港湾課 〔 営繕課 〕	鳥取砂丘コナクン空港ターミナルビル一体化工事(電気設備)	鳥取市 湖山町西 4丁目	株式会社とりでん 代表取締役 高岡 繁	(当初契約額) 102,708,000円  (第1回変更後契約額) 116,178,840円 (変更額) 〔 13,470,840円 〕	平成29年 6月10日 ～ 平成30年 3月20日  (変更後工期) 平成30年 3月26日	(当初契約年月日) 平成29年6月9日  (第1回変更後契約年月日) 平成30年3月19日	-  通信配線の迂回等に伴う工事費の増。 ・上記工事により日数が必要となったことによる工期延長。

【変更分】

県土整備部

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
空港港湾課 〔鳥取港湾事務所〕	鳥取港災害復旧応急工事 (航路浚渫2工区)	鳥取市 港町地先	やまこう建設株式会社 代表取締役 岡田 幸一郎	(当初契約額) 97,092,000円  (第1回変更後契約額) 97,092,000円 (変更額) 0円	平成29年10月26日 ～ 平成30年 3月26日  平成30年 6月 29日	平成29年10月25日   平成30年3月26日	-   平成29年台風18号の応急工事として発注したが、その後、台風21号により航路埋没が増大し、施工方法、施工場所の調整が必要となり不測の日数を要したことによる工期延長。